

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

生駒市立生駒小学校

教諭 川口 洋介

教諭 橘 怜威

教諭 大槻 桂子

教諭 澤田 健

講師 藤井 佳子

1 単元名 「防災に役立つ情報を発信！いこしょう防災士！」

2 単元の目標

- ・災害時におけるより良い避難行動や日常的な備えなど、防災上の知識について理解し、生駒小学校児童に伝わるようにまとめることができる。 (知識及び技能)
- ・ハザードマップや、水害体験、生駒市防災安全課の人と震災で避難所生活をした人の話をともに、課題を見出したり、自らが学んだ防災知識をまとめて発信したりすることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- ・生駒小学校区で暮らす人たちが安心して暮らせるようにしたいという目的意識をもち、防災について学んだことをまとめることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本校区は、西に生駒山系の高い峰々を頂き、近くには竜田川が流れる地域である。その為、急傾斜地や平坦地など地形の変化に富んだ地域でもある。生駒市ハザードマップでは、大地震や水害等の災害時には、本校区に至る所で土石流や地滑りといった土砂災害や洪水が起こると予想されている。また、南海トラフ沖大地震が起きた際、生駒市は震度6強と甚大な被害がもたらされることが想定される。このような地域で育つ児童に、日頃から命を守るための避難時の正しい知識をもち、大地震や水害に対して十分な備えが必要であることを認識させることが大事である。

本単元では、専門家や被災経験者の話や避難所の特徴・経路確認、応急処置の方法を教材として取り上げる。生駒市ハザードマップやAR防災アプリといった資料を用いて、自然災害を自分事のように感じることで、活動への意欲を高めることができる。また、生駒市防災安全課や東日本大震災で実際に避難所生活をした方を招くことで、防災についての知識を深めるだけでなく災害時における課題を見出すことが期待できる。そして、これまで学習してきた防災・減災の知識を防災動画という形で発信することで、より相手意識をもって活動することができると思う。これらの活動を通して、防災・減災に対して自分で行動するためのきっかけづくりになると考える。

(2) 児童観

本学年の児童は、5年生の理科の学習で、台風について学習し、土砂災害や洪水、暴風の被害などを学んできた。また、地震についての知識などが豊富な児童も多く、自然災害でどのようなことが起こるか、その恐ろしさなどを知識として持っている児童は多い。

しかし、実際に大きな自然災害が身の回りで起こることも少なく、他人事として考えている児童が多いように感じられる。自分たちの問題としてとらえられるような課題を取り上げていきたい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たって、まず実際に災害が起きた時、自分たちの住んでいる地域にどのような被害が起こるかから考えさせたい。そのために、生駒市のハザードマップを活用したり、AR防災アプリを使ったりして、どのような被害が想定されているかに気づかせ、実際に防災について考え、学んでいく意欲を持たせたい。

次に、生駒市では防災に関してどのようなことをしているのかに気づかせたい。そのために生駒市防災安全課の方に来ていただき、防災倉庫や表示や看板、避難所のことなどを聞く。そして、その中で実際に対策がされていることを知り、自分たちにできることも考えさせたい。

そして、特に避難所に関して焦点を当て、避難所でどのような生活が送れるのかを考えさせたい。避難所で生活された人の話を聞き、プライベートな空間や、非常食、トイレなど、避難所での生活の大変さや、問題点など考え、自分で防災グッズを作ったり、防災袋について考えたりする活動につなげていきたい。

さらに、自分たちが学んだことをまとめ、生駒小学校の児童や、自分たちの保護者に伝えることにより、さらに深く考え、自分たちで動ける児童を育てたい。

また、全体を通して、学習のゴールを決めるのではなく、児童自ら意見を出し、その意見にそって軌道修正しながら学習を進めていく。そのように自発的に考えさせていくことで、自ら考え、行動していく児童を育てたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点

公平性…災害では自分たちだけが助かればよいというわけではなく、地域として若年層も高齢者も助からなければ、助けなければいけないということ。

責任性…災害はいつ起こるか分からず、誰に起こるかも分からない。他人事とせず自分にも関係があり関わっていかねばならないということ。

連携性…災害に対して何もできないわけではなく、自分たちが地域に対して危険箇所を啓発することで、地域としての減災ができるということ。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

批判的に考える力（クリティカルシンキング）

災害発生時に避難所で支給される防災食は老若男女の口に合うようにできているのかを考えたり、自宅に準備されている防災袋には必要なものが揃っているのかを考えたりする。

未来像を予想して計画を立てる力

いつ何が起こるか分からない災害に対して、生駒の地域で起こる可能性のある被害を見出し、必要な対策を計画する。

コミュニケーションを行う力

生駒小学校校区で暮らす人たちが安心して暮らせるまちづくりについて意見交流を通して自分の考えを作り上げたり、作成した防災動画を下級生や地域の人たちに発信したりする。

つながりを尊重する態度

生駒市防災安全課の人や震災で避難所生活を経験した人などとの関わりを通し、様々な人とのつながりが自分たちの豊かな学びになっていることを意識し、尊重しようとする。

進んで参加する態度

生駒小学校区で暮らす人たちのために自分にできることはないかと考え、意欲的に関わりを持とうとしたり考えを作ろうとしたりして、地域の社会に貢献する。

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正を重要視できる

自分たちだけでなく、高齢者や幼い子どもなど、生駒小学校区で暮らし同じ時間を過ごすみんなが安心して過ごせるまちづくりが大切である。

人権・文化を尊重する

避難所については、トイレの問題やプライベートな空間の確保、障害のある人への対応など、一人ひとりの人権を守れるようにしていかなければならない。

幸福感に敏感になる。幸福感を重要視する。

災害が起こる前に防災や減災などの意識を高く持ち、備えておかなければならない。また、災害が起こった時でも地域の人などと協力して生活していく必要がある。

・達成が期待されるSDGs

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 3 気候変動に具体的な対策を

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
①災害時におけるより良い避難行動や日常的な備えなど、防災上の知識について理解している。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図などを用いてそれらに関連づけながらまとめる機能を身につけている。	①ハザードマップや、水害体験、生駒市防災安全課の人と震災で避難所生活をした人の話から得た知識をもとに、まとめている。 ②災害が起きた時の安全な避難方法や予防対策について考ええている。	①生駒小学校区で暮らす人たちが安心して暮らせるようにしたいという目的意識をもち、災害発生時の危険個所から身を守る方法を考えようとしている。 ②防災について学んだことを、まとめて発信しようとしている。

5 単元の指導計画（全20時間）

学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
<p>1 災害が起きた時、どのように行動すればよいのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に災害が起きたらどのような状況になるのか。 ・これまでにどのような災害が起きているのかな。 ・自分の住んでいる所からの安全な避難ルートはどこだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生駒市のハザードマップや実際の豪雨の時の写真や動画を用意する。 ○登下校のルートを歩きながら災害時に起きそうな事態を考えさせるために校区の地図を用意する。 ○AR防災アプリを用意する。 	<p>ウ① (主体的)</p> <p>イ② (思判表)</p>
<p>2 生駒市ではどんな対策をしているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな表示や看板などが設置されているのかな。 ・避難所や防災倉庫などの備えは？ ・生駒市の防災対策について調べたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生駒市防災課の方を招き、話を聞く。 ○実際にある看板や表示、防災倉庫などを調べる。 	<p>ア① (知技)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
<p>3 避難所ではどんな生活をしているのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に避難所で生活をした人に話を聞きたい。 ・自分たちにもできることはあるのかな。 ・食事はどうなっているのかな。 ・水は足りるのかな。 ・トイレは？ ・プライベートな空間がなくて困ることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の避難所の動画やインタビューを用意する。 ○見本の防災袋を準備。 	<p>ア① (知技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト
<p>4 避難生活の時、あると便利なものをつくってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災袋を準備してみよう。 ・便利グッズをつくろう。 ・こんな防災食があったらいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災袋に入りたいもののチェックリストの用意。 ○新聞紙やビニール袋などを使った便利グッズを紹介する。 ○防災食や長期保存水を用意する。 	<p>ア② (知技)</p>
<p>5 自分たちの学習したことをまわりの人に伝えよう。調べたことについて、テーマを決めて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画 ・新聞 ・発表会 ・スライド（パワーポイント） ・防災ブック 	<ul style="list-style-type: none"> ○班ごとにテーマを決めさせる。 ○全員が役割を持って行えるよう役割分担を提案し、活動に差が出ないよう配慮する。 	<p>イ② (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>6 自分の防災についての知識や対策や意識について振り返ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○変容した部分に気づかせるよう声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

【参考】

自宅の危険度をチェック 防災Yes・No診断（生駒市防災安全課）

<https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsfiles/contents/0000023/23556/yesno.pdf>

防災・危機管理のページ（ハザードマップ 避難所情報）

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000000974.htm>

生駒市防災知恵ぶくろ

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000016460.html>

防災いこま（X 旧Twitter）

本時案①

○本時のめあて

災害が起きた時、どのように行動すればよいのか考えよう。

○本時の展開

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	○学習への支援	○評価 ・ 備考
導入	<p>○近頃の大雨や気候変動によって実際に身の回りで災害が起きたら、どのような状況になるのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や山が崩れる。 ・土砂崩れが起きる。 ・家に帰れなくなる。 ・竜田川が溢れる（氾濫する）。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>災害が起きた時、どのように行動すればよいのか考えよう。</p> </div>			
展開	<p>○生駒小学校区内では、これまでにどのような災害が起きているのか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜田川が溢れた。 ・山の上の方では土砂崩れが起きた。 ・近くの家の石垣が崩れた。 ・1mの浸水でもこんなに沈んでしまうんだ。 ・透明な水のイメージだったけど、本番を想定すると泥が混じった水だね。 <p>○自分の住んでいるところから安全に避難できるルートはどこかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この道は急だから危ない。 ・この道は広くて緩やかだから安全に通れる。 ・この道は狭いし多くの人を通りそうで、危ないかもしれない。 	<p>○生駒市のハザードマップや実際の豪雨の時の写真や動画を用意する。</p> <p>○浸水の深さのイメージを持たせるために、AR防災アプリを用意する。</p> <p>○住んでいるまちの中で起きる可能性のある事態を考えさせるために、生駒市のハザードマップや校区の地図を用意する。</p>	<p>ウ① (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>イ② (思考力・判断力・表現力等)</p>
まとめ	<p>○災害が起きた時に、どのように行動すればよいのかを考える。</p>		

本時案②

○本時のめあて

生駒市では、どのような防災の対策があるか知ろう

○本時の展開

	学習・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○前時について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域でどのような災害が予想されているか振り返る。 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">生駒市ではどのような防災の対策をしているのだろうか</div>			
展開	<p>○生駒市防災安全課の人に話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示や看板がいろいろなところにあるんだ ・避難所や防災倉庫などいろいろな場所にあるな。 ・自分たちでも調べてみたいな <p>○校区にある防災に関する表示や、看板、防災倉庫など調べ、ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに身近に表示があるんだ。 ・学校の中にも防災倉庫や防災食の備蓄があるんだね。 ・学校が避難所になっているけど避難所ではどのような生活をするのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校中や、生活している中で気を付けてみるように指導する。 ・校内にある防災食や防災倉庫について確認する。 	<p>ア① (知技) ワークシート</p> <p>ウ① (主体的) ワークシート</p>
まとめ	<p>○今後の活動の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所ではどのような生活をしているのか調べてみたいな 		

本時案③

○本時のめあて

避難所での生活や課題に気づき、自分たちにできることを考えることができる。

○本時の展開

	学習活動 ・予想される児童の反応	○学習への支援	○評価
導 入	<p>○避難所での生活についてイメージしていることを出し合う。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>避難所での生活について考えてみよう。</p> </div>			
展 開	<p>○避難所ではどんな生活をしているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に避難所で生活をした人に話を聞きたい。 ・食事はどうなっているのかな。 ・水は足りるのかな。 ・トイレは？ ・プライベートな空間がなくて困るだろうな。 ・赤ちゃんや高齢の人、車いすの人など、色々な人たちが避難してきたら、どうすればよいのかな。 <p>○自分たちだからこそ、できることはあるのか考えてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難しているみんなを元気づけることや助けになることは何か、考えを出し合い、交流する。 	<p>○実際の避難所の写真やインタビューの動画を用意する。</p> <p>○NHK for school 「まなぼうBOSAI一被災者に学ぶ 避難生活が長引くとき」 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180179_00000</p>	<p>ア① (知技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト <p>・付箋</p>
ま と め	<p>○次時からの活動を知る。</p>	<p>○見本の防災袋を準備しておく。中に入っているものは次時に紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災袋

本時案④

○本時のめあて

「防災グッズを作ろう！防災袋を考えてみよう！」

○本時の展開

	学習・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○自分で作れる防災グッズには、どんなものがあるか考える。</p> <p>○実際に、新聞紙スリッパを作ってみる。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>・「生駒市防災知恵ぶくろ」やNHK「つくって守ろう」など画像を見せる。</p>	プリント。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>いつ被災するかわからないので、日頃から準備しておこう！</p> </div>			
展開	<p>○いざという時にすぐに持ち出せる防災袋にはどんなものを入れたらいいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず自分で、何を入れたいか考える。 ・チェックリスト（首相官邸）を見ながら、自分が考えたものと比較してみる。 <p>○市販されている防災食以外に、こんな防災食があればいいなという物を考えている。</p>	<p>・市販されている防災食にはどんなものか、調べさせる。</p>	<p>(ア) ② (知・技) チェックリスト</p> <p>タブレット</p>
まとめ	<p>○次時からの活動を知らせる。</p>	<p>・これまで学習してきた防災のことについて、班ごとにテーマを決めいろいろな方法で発表してみよう。</p>	

○本時のめあて⑤

防災について学んだことを、どのように発信していくか考え、今後の活動の見通しを立てることができる。

○本時の展開

	学習・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○防災についてこれまで学習した内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水したときのシミュレーション ・ハザードマップ ・避難所の場所や特徴 ・防災課の方のお話 ・防災グッズ、新聞紙スリッパ <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で作成したパワーポイントやハザードマップ、新聞紙スリッパといった教材を提示する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分たちが学習したことを周りの人に伝えよう。</div>			
展開	<p>○国が発信している防災動画を視聴する。</p> <p>○「いこしょう防災士」として、どうしたら周りの人に学んだことを伝えられるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像・防災ブック・新聞・発表会 ・スライド（パワーポイント） <p>○班ごとにテーマを決める。全員が役割をもって行えるような役割分担を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『クイズで防災を学ぼう』『洪水から身を守るためには』の動画を準備する。 ・ワークシートを配布する。 ・児童によって役割に差が出ないようにする。 	<p>(イ) ② (思・判・表) ワークシート (ウ) ① (主体的)</p>
まとめ	<p>○今後の活動の見通しを立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間を事前に提示する。 ・発表物の準備方法について困っている班がいれば助言する。 	<p>(イ) ② (思・判・表) ワークシート</p>